

# 会誌広報委員会

当委員会では、『知財管理』誌の発行、JIPA ホームページを通じて会員に有用な知的財産関連情報を提供しています。

## 委員会の構成

### 定例委員会

#### 第1小委員会

- ・Q&A企画
- ・「今更聞けないシリーズ」企画

- ・一般原稿企画
- ・特集号原稿企画

・企画原稿、委員会原稿、投稿原稿の査読

#### 第3小委員会

- ・JIPA HP  
(Coffee Break)
- ・事務局と連携したHP企画

・編集後記＆新刊書紹介 原稿執筆

#### 第2小委員会

- ・「判例と実務シリーズ」企画
- ・「判例研究」フォロー

## 『知財管理』誌について

『知財管理』誌は日本知的財産協会の機関誌(月刊約3,600部)であり、会員相互の研鑽・交流情報誌としての役割を持ちます。

また、知的財産関係の専門誌としても高い評価を受けています。

### 好評新連載

#### 『今更聞けないシリーズ』

- 「キントーロン」っていったい何？？  
®とTMってどう違うの？？

「今更聞けないよなあ…」という基礎的な知財用語や裁判例などを平易な文章で解説する新連載『今更聞けないシリーズ』が11月号よりスタートしました。

初学者はもとより、中級者の復習にも役立てるよう、実務へのポイントも盛り込まれています。是非、ご愛読下さい！



特許だけでなく、意匠・商標・著作権…等、様々なテーマを取り上げます!!

### 予告！

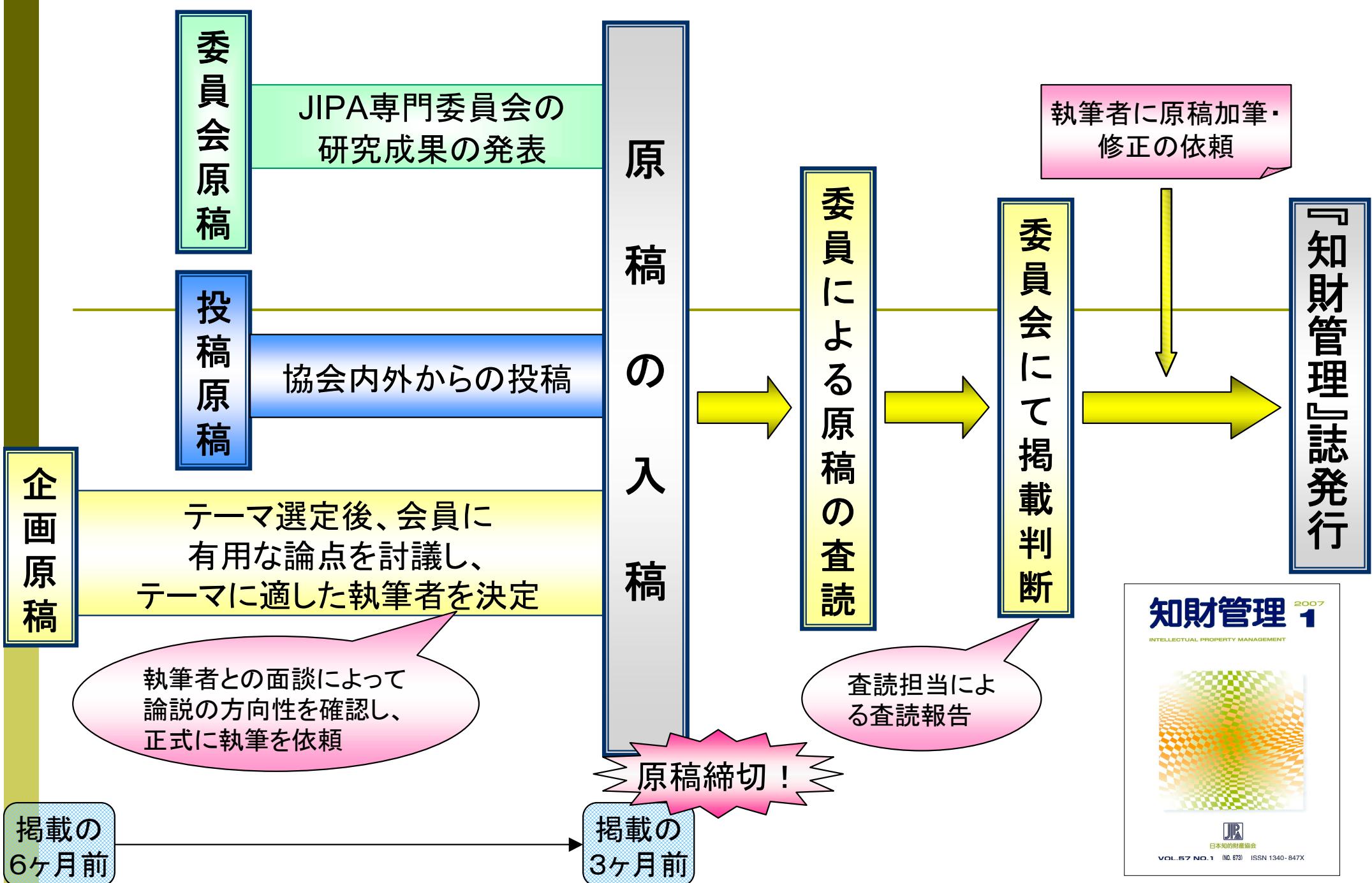
#### 今年の特集(3月)号



### ■ 特集テーマ ■ 「知財リスク」にどう対応すべきか

近年の企業経営における経営課題の中で、知的財産に関する課題の割合は、日々高まっています。そこで今年度は、国内外に存在する「知財リスク」に対して、企業としてどのように対処するべきかについて、特集します。

# 『知財管理』誌発行までの流れ



## 会誌広報委員会に参加してみませんか！

### 参加される企業にとって

業務における疑問や問題点を論説として企画し、執筆依頼によって専門家の意見を聞くことが出来ます

著名な先生方と人脈を形成し、業務に活かすことができます

様々な業種の集まりであるため、多様な角度から知財情報を収集することができます

### 参加される委員にとって

論説テーマの選定・企画・提案によって企画力が身につきます

先生方との面談、情報交換を通してスキルアップが図れます

委員会メンバーは様々な業種・専門性・職域から構成されており、その交流を通して視野が広がります

会誌広報委員会へ参画することは、企業、委員にとって大きなメリットがあります。  
貴社も会誌広報委員会へ参画してみませんか！